

須 恵 つ 子



令和7年7月18日発行
須恵小学校だより第8号
発行者：吉川 巧

一学期最終号

一学期ありがとうございました

本日、令和7年7月18日（金）が終業式でした。地域や保護者の皆さまの御理解と御協力により、大きな交通事故や授業、行事等でのけが等なく終了しました。児童にとって「楽しい一学期だった」と感想がもてたなら、幸いです。

しかし、毎月実施している心のアンケートを見ながら振り返ると、「心配なこと」や「嫌だったこと」は、ゼロではありません。須恵小の全職員で、一学期を振り返り、二学期の指導に活かすためにも、検証をしていきます。

今年度の学校教育目標は、「心やさしく、気づく・考える・行動する児童の育成」としています。学年に応じた、目標への到達が進んでいることを望んでいます。長い長い夏休みは、児童の教育を家庭にお返しする期間です。基本的な生活習慣、学習、ゲーム使用、情報モラル、情報安全、人権教育……。書き出すと枚挙にいとまがないのですが、「それは子どものためになることなのか？」という、保護者と地域と学校の共通理解事項として、これまで同様、御理解と御協力をお願いいたします。



心と身体の成長

わたしが、両親から言われ続けたことは、「食べるだけでは、心は成長しない。」ということでした。心を成長させるには、周りにいる大人や、友だち等の働きかけが必要だ、と考えています。

須恵小児童69人には、心と身体の成長を続けてほしい、と願っています。そのためには、友だち同士の良いかかわりはもちろんですが、親として教師として、周りにいる大人が、意図的な声かけをすることがたいせつです。家庭で認め・ほめ・励まし・伸ばしていきましょう。



地域とともにある学校として

「地域とともにある学校」や「学校を核とした地域づくり」という言葉で、地域の方々に学校の教育活動に参画いただく機会を増やすことが求められています。以前の学校だよりで、お話ししたとおり、あさぎり町指導主事以前の仕事として、かかわっていたことでもあり、須恵小学校で実施していただいている「読み聞かせの会」「語り部の会」「和綿の里づくり」「いもつる植え」「田植え」といった体験活動は、地域の皆さまのお力をお借りしながら、学校教育活動と地域活動が協働できている活動です。児童には、おぜん立てされた中での活動とするのではなく、探究することができる活動になるよう指導を続けます。

計画を立て、目標をもちましょう

夏休みが残りわずかになった時、宿題が終了しておらず、焦ったことはありませんか？そんなことにはならないことを望んではいますが、無計画で、その日のことだけを考えると、取り返しのつかないことになるかもしれません。「後悔先に立たず」と言いますが、保護者の皆さまには、児童が事前に計画を立て、目標をもった夏休みを過ごすことができるように御協力をお願いいたします。

そこで、各担任からも話があると思いますが、児童が、安全安心に、計画的な、楽しい夏休みを過ごすことができるように、終業式後の3連休を使って話し合いをお願いいたします。



ちょっと一言

あなたにとってのヒーロー、ヒロインは誰ですか？と聞かれたら、回答が見つかりますか？児童には、自分なりのヒーロー、ヒロインを見つけてほしいと願っています。